



おもちゃの病院

壊れたおもちゃを子どもたちの前で修理（治療）することにより、物を大切にする心などを育むことを目的に、毎月第2・第4金曜日にピュアプラザで開院されています。

ナイス ひと
nice さん 見つけちゃいました!

★ 今月のいいね ★

まちの魅力は、そこに住む人の生き方に現れる。『今月のいいね』は、さまざまな分野で活躍中の「まちのひと」を紹介していくコーナーです。

👍
Vol. 9

ピュアプラザで開院しているおもちゃの病院の『おもちゃドクター』の皆さんに、活動内容などについてお話を伺いました。

■設立の経緯

『もったいない』の精神が失われつつある現代において、子どもたちの『物を大切にする心』や『科学する心』、『省エネ・再資源への意識』を育むことを目的として、平成19年12月に町民有志で『おもちゃの病院』を開院しました。

発足当時は7人のおもちゃドクターがボランティアで参加し、壊れたおもちゃの治療をしていました。13年目を迎えた現在、町内外の70代から80代のおもちゃドクター11人が参加しています。



治療している様子

■主な活動

毎月2回、ピュアプラザで開院しているほか、町内保育所から依頼を受けて施設のおもちゃなどを治療することもあります。ラジコンや合金ロボット、ぬいぐるみなど、年間で約100件のおもちゃを原則無料^(※)で治療しています。

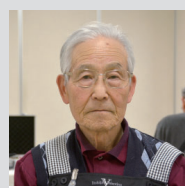
利用者は子どもから大人までさまざまで、年配の方が「数十年前に自分の子どもが遊んでいたおもちゃを孫にも使わせたい」と、治療を依頼されることもあります。

治療に時間がかかる場合は入院（ドクターが持ち帰り）していただき、治療が完了してからお返しします。

最善を尽くしても治療できないときはとても悔しいですが、完治したおもちゃを子どもに返したときの喜ぶ反応を見ると、とてもやりがいを感じます。



(※) 交換部品などが必要なときは、実費負担となる場合があります。



おもちゃドクター
一ノ瀬敏明さん

機械いじりが好きで、趣味の一環として平成19年の開院当時から参加しています。ときには時間を忘れて打ち込んでしまうほど、楽しい活動です。

おもちゃドクターの皆さんも人柄が良く、得意分野で協力しながら治療に当たっています。長く続けられるのは、そのおかげです。

使い捨てが当たり前になりつつあるこの時代に、壊れたおもちゃを修理したいと思うのは、きっとそれだけ愛着があるということ。自分たちの活動で喜んでもらえるのなら、大いに利用してもらいたいです。

■今後について

時代とともにおもちゃの仕組みも変わってきており、はんだ付けや裁縫であれば治療できますが、最近はICチップが搭載されたおもちゃや精密機器など、治療の難しいおもちゃが増えてきました。

しかし、遊ぶおもちゃは変化しても、子どもたちの純粋な心は変わりません。これからも子どもたちや親御さんの思い出を大切に、一つひとつ丁寧に治療していきたいです。



おもちゃの病院

■と き 3月13・27日(金)
10時~15時

■ところ ピュアプラザ

※原則無料(交換部品などは実費)



おもちゃドクター募集中!!

【問合せ】ピュアプラザ ☎45-0090